熊谷市
記者クラブ取材情報

平成29年11月30日発表
担当課:熊谷図書館

事業の名称等

「～作家･森村誠一が選ぶ～くまがや「写真俳句」コンテスト2017」
特選･入選作品の展示及び表彰式

1. 展示期間　平成２９年１２月９日（土）～１２月１６日（土）
９時～２１時（初日は１３時から、最終日は１４時まで、水曜日は休館日）

表彰式　平成２９年１２月１６日（土）１４時

2. 展示場所　熊谷市緑化センター１階ホール（熊谷市宮町2-37-1）

表彰式会場　熊谷市緑化センター２階研修室

3. 事業概要

（内容）「～作家・森村誠一が選ぶ～くまがや「写真俳句」コンテスト２０１７」として作品を募集したところ、北は北海道から南は鹿児島県まで、下は６歳から上は９８歳まで、８３４名の方から総数１１６６句が投句されました。この中から、森村誠一氏の選考を経て特選５点（うち熊谷賞１点）、入選２０点（うち熊谷賞６点）が選ばれました。これらの入賞作品について展示と表彰式を行います。
入選作品は、１２月１日（金）～　市ホームページ「WEBくまがや写真俳句館」に公開します。
最終日、１２月１６日（土）１４時～表彰式を行います。
（経過）平成２４年度から事業を実施し、６回目の開催です。

4. 特徴やPRポイント

（１）くまがや「写真俳句」コンテストを通じて、「文学のまち」としての熊谷市を全国に発信しています。「写真俳句」に造詣が深く、熊谷市出身の作家・森村誠一氏が選者を務めるほか、賛助作品を提供していただくなど、同氏から全面的に御協力をいただいています。

（２）今回は特に市内小学生からの応募が多く、入賞者２５名中、特選１名、入選１１名が小学生作品となっています。今年は特に夏休みの課題として取り上げていただいた学校もあり、幅広い年齢層の作品がみられるのは,くまがや「写真俳句」ならではと考えます。

（３）例年は市民ギャラリー（市立文化センター内）で行っている展示を、今回は緑化センターで行います。午後９時まで開場しています。

5.

主催：熊谷市・熊谷市教育委員会

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　髙舘夕子　西村陽子　油橋將行
連絡先　０４８－５２５－４５５１

～作家・森村誠一が選ぶ～

くまがや「写真俳句」コンテスト2017

ー特選・入選作品ー

「写真俳句」とは、熊谷市出身の作家・森村誠一氏が提唱する、写真と俳句を組み合わせた新しい表現手法です。熊谷市では平成24年度から～作家・森村誠一が選ぶ～くまがや「写真俳句」コンテストを開催しています。今年も～作家・森村誠一が選ぶ～くまがや「写真俳句」コンテスト2017として実施したところ、北は北海道から南は鹿児島県まで、下は６才から上は98才まで、全国から1166句の投句をいただきました。この中から、森村誠一氏の選考を経て特選５点（うち熊谷賞１点）、入選20点（うち熊谷賞６点）が決定しました。作品は、次のとおり展示します。また「ＷＥＢくまがや写真俳句館」に掲載します。

○期間／12月９日（土）～12月16日（土）９：00～21：00（12月９日は13：00から、12月16日は14：00まで）

○会場／熊谷市緑化センター１階ホール　※水曜日は休館日。

特　選

空蝉（うつせみ）の 地下の年月 語り合ふ　秋田芳子

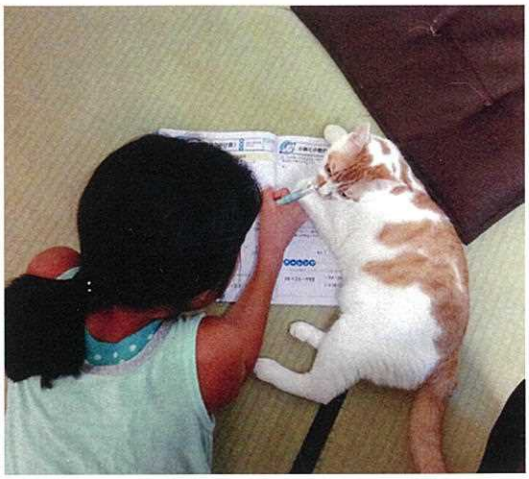
〈熊谷賞〉勤倹（きんけん）も 木かげを選び 力行（りっこう）す　太田資邦

この子らに 戦（いくさ）はさせじ 梅雨晴れ間　平田正子

暮れなずむ 未来へ誘う 天使の輪　藤 恵子

昼下がり きずな深める 母娘（おやこ）かな　綿井博一

入　選



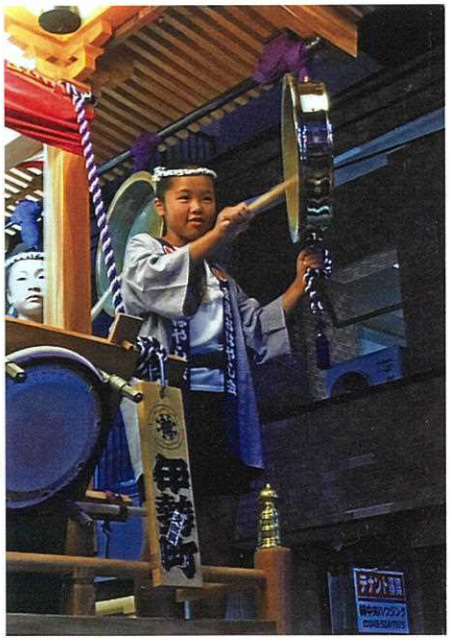
宿題は ねこにじゃまされ 進まない　飯塚月乃

〈熊谷賞〉ひまわりと ぼくの妹 背くらべ　金井一真

水着より パンツ一ちょう はしゃぐ夏　神田風羽

百日紅（さるすべり） 菩薩（ぼさつ）に挿頭（かざ）す 紅の花　後藤敬作

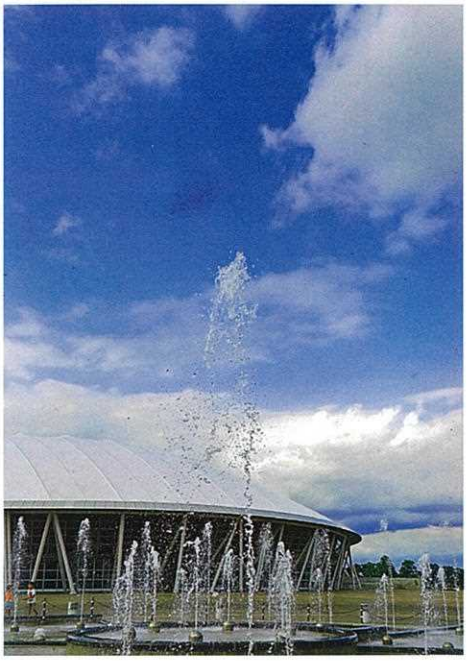
Let's Try 夢かなえよう 一歩ずつ　耒間柚稀都



〈熊谷賞〉チャンチキチ 私が一番 かがやく時（ひ）　深田鼓珠

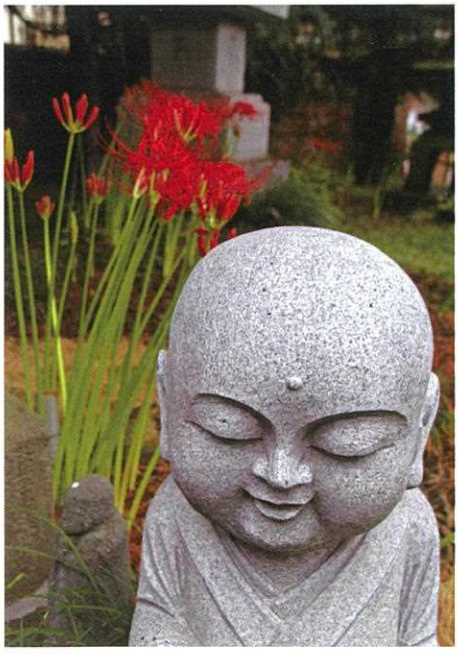
日曜日 今日はぼくが お母さん　松井琥太郎

入選



〈熊谷賞〉 炎天下 ドームも空も 水を飲む　鎌田ひまり

無駄なこと わかっていても 神頼み　告 広子



耳鳴りと 重なり聞くは 秋の風　飯野佳代子

責任と 誇り背負いて 炎天下　岩田 潤

湯畑の 温泉に当たる 光かな　大井夏帆

実り待ち 夕焼け空に 手を合わせ　稲村 光

給餌(きゅうじ)待つ ツバメの合唱 戸袋に　半田ヒデ

入　選

〈熊谷賞〉夏空に 世界へ繋ぐ 楕円形（だえんけい） 半田充右

八朔（はっさく）や 傘がお供の あいさつ回り 村田ひさ子

初秋（はつあき）に 美田（びでん）の女神 まいおりる 森下李湖

〈熊谷賞〉十五夜 浮かぶドームと ゴールバー 田島 実

わらい声 チャイムもなくなり せみ時雨 竹内悠莉

〈熊谷賞〉直実公 よくぞ来たなと お出むかえ 大島健士朗

～お知らせ～　このたびのコンテストにつきまして、下記の通り表彰式を行います。

記

○日時　平成29年12月16日（土）14：00～
○会場　熊谷市緑化センター ２階研修室
　　熊谷市宮町２丁目37-１

※このパンフレットは、2,000部制作し、一部14.5円で制作しております。

～作家・森村誠一が選ぶ～

くまがや「写真俳句」コンテスト2017

森村誠一氏 賛助出品作品

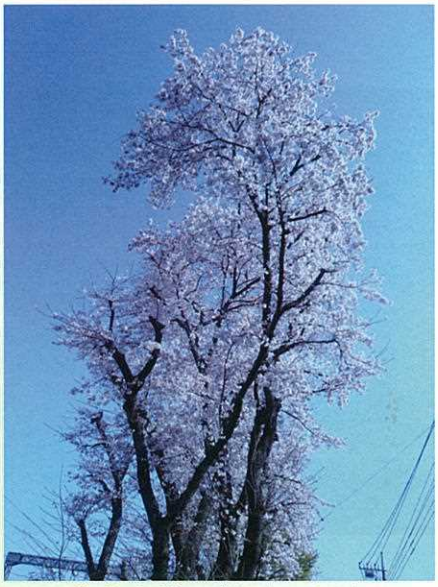
― 写真で記録、俳句で記憶、写真俳句は日常から始まる ―

通り雨 愛犬庇う 傘の外

橋渡る 人引きとめて 花吹雪

行きずりの 夢とは知れど 蝉と鬼

新緑に 橋埋もれて 旅の窓



天を突く 花の誇りや 雲はらい

また来いと 鬼が背負うて 蝉時雨

夕映えに 彩らる人 分か去れて

咲く場所を 誤りてなお 花見かな

戦争は いずこにありや 阿波踊り

今日もまた 未練の空や 秋真似て

特攻に 風雪なくも 玉霰（たまあられ）

※このチラシは、2,000枚制作し、制作費用は1枚あたり8円です。